

飯田橋駅東口周辺整備構想

平成 26 年 7 月

飯田橋・富士見地域まちづくり協議会

01. 飯田橋駅東口周辺の現況課題

東口駅前に人溜り、広場空間がない①

- ・駅改札と車道・横断歩道の間の人溜りスペースが無い



- ・歩行者と車両が錯綜している
(目白通り左折車、区道255号の右左折車)

利用者の安全を！



- ・JRガード下の道路が狭い
- ・ガード前の広場空間がなく歩行者が溢れている

回遊動線の分断 (目白通り)



- ・横断者が多く横断歩道から歩行者が溢れている
- ・目白通りによって歩行者の円滑な動線が分断されている
- ・外濠公園～アイガーデンIAをつなぐ東西の歩行者軸も目白通りで分断されている

地下鉄の出入り口が狭く階段しかない

- ・地上の分断された動線を補完する地下の歩行者ネットワークが出来ていない



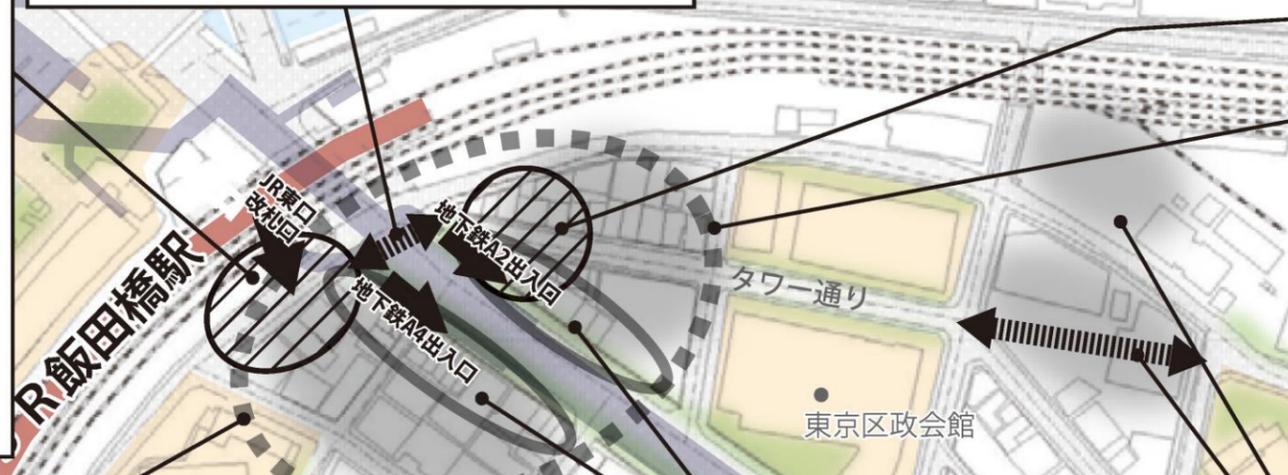
- ・地下鉄出入口(A2,A4)や歩行空間が狭く相互通行が難しい状況



- ・地上と地下との動線がバリアフリー化されていない

駅前に広場空間がない②

- ・1日約32万人(JR東西口計、地下鉄全線含め)の利用ターミナル駅にも関わらず東口に有効な広場空間がない
- ・発災時、情報を求める人が駅に集中することが想定されるが、滞留スペースがない



拠点地区に相応しくない駅前土地利用

- ・更新時期を迎えている建物が多し
- ・大規模な拠点整備が進行する飯田橋駅周辺で、東口駅前は土地の細分化により有効利用が不十分でランドマーク的建物もない
- ・小規模ビルが多く目白通り裏側は特に顕著

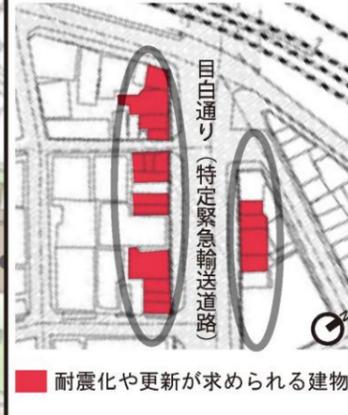


緑地空間が少ない

- ・飯田橋周辺は緑地が少ない
- ・東口周辺は緑被率が低く、外濠の自然豊かな空間とアイガーデンの敷地内緑地空間を分断している



特定緊急輸送道路沿道の耐震化推進※



※参考
 ・「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」(H23.3)により、条件に該当する建築物の耐震診断と状況報告が義務化
 ・目白通りが特定緊急輸送道路に指定(H23.6)

公共用地が未活用

- ・千代田区所有地が有効活用されていない
- ・下水道幹線整備事業により、約10年間、活用できない



貫通路が未整備

- ・地区計画で位置づけられた動線が確保できていない
- ・アイガーデンIAへの接続と大神宮を含む近隣賑わい施設等との回遊性が分断されている



通行車両が多い

- ・一方通行で車両と歩行者が多く危険である
- ・スクールゾーンであるにも係わらず、通り抜け車両が多く、歩車分離がされていない



02. 飯田橋駅東口周辺の基本骨格

アクセス・回遊の拠点

- 安全でゆとりある人溜りスペースや広場空間の確保
- 地下通路から周辺街区への接続性強化
- 地上と地下の歩行者ネットワーク
- 災害時の一時待機スペースの確保



2つの歩行者軸

- 外濠公園からアイガーデンエアをつなぐ東西の歩行者軸の確保・強化
- 貫通通路の確保
- ゆとりある歩行者空間の拡充



〈凡例〉

- : 賑わい拠点
- : 歩行者軸
- : 回遊動線
- : 緑のネットワーク

潤いある緑のネットワーク

- 周辺緑地とのネットワークを形成
- オープンスペースの緑化
- 季節を楽しめる回遊動線



多様な回遊動線

- 歩行者動線のネットワーク化の構築
- 商店街や地区の賑わい拠点を結ぶ回遊路整備



03. 飯田橋駅東口周辺整備構想

駅前広場の整備 (交通結節機能・滞留空間の確保)

- ・東口改札前に人溜りスペースの確保
- ・歩車の分離を図り、安全な駅利用者の滞留空間を形成
- ・鉄道、バス、タクシー等の多様な交通手段への円滑なアクセス
- ・目白通り横断歩行者の安全な人溜り空間



地下空間を利用した地上との歩行者ネットワークの整備 (地下空間の拡充と縦動線の強化:バリアフリー化)

- ・地下空間を利用した歩行者ネットワークの形成、目白通りの両側を結ぶ地下動線の確保(目白通り横断者の抑制と安全性の向上)
- ・地上と地下を円滑に移動できるバリアフリー対策(E S、E V)
- ・入り易く出易い施設整備(例:サンクンガーデン)



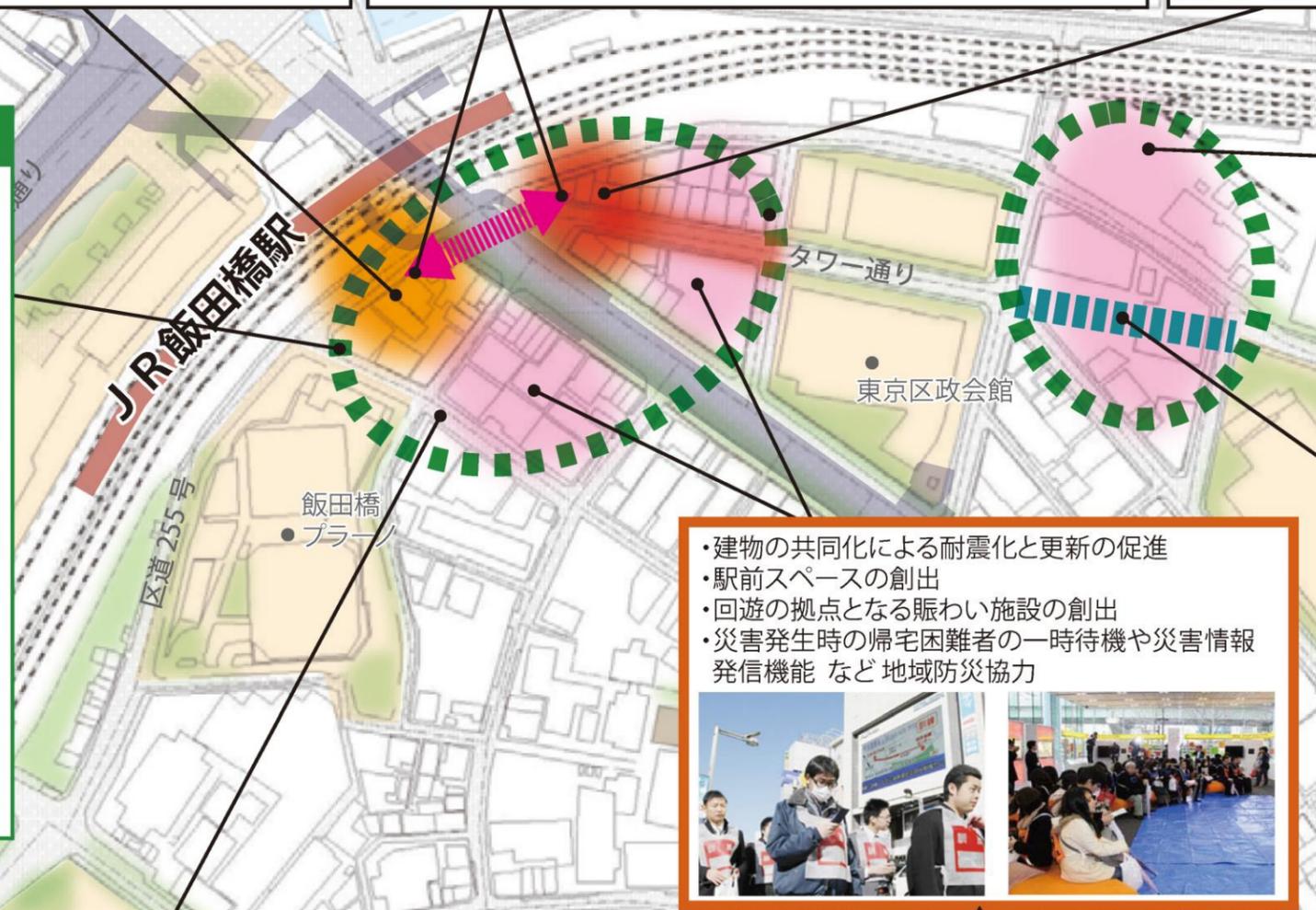
広場空間の確保 (広場スペースの確保と回遊拠点・情報提供)

- ・地下鉄利用者や道路横断者の安全で快適な人溜り空間
- ・交通動線の整理と回遊動線・拠点の整備
- ・まちの回遊ルートの出発点の形成



緑のネットワークの形成

- ・駅前広場、通路、道路、空地を緑化し、外濠公園からアイガーデンエアまでをつなぐ緑のネットワークを構築する



公共用地の有効活用

- ・土地の有効活用・高度利用
- ・清掃事務所機能の更新・公共施設整備

東口駅前とアイガーデンを結ぶ貫通動線の確保

- ・外濠公園から東口駅前、アイガーデンエア、水道橋を結ぶ貫通動線の整備
- ・まち歩きを楽しめる緑道歩行者空間整備(賑わい機能の連続・連携)
- ・商店街や大神宮通りへの回遊性



- ・建物の共同化による耐震化と更新の促進
- ・駅前スペースの創出
- ・回遊の拠点となる賑わい施設の創出
- ・災害発生時の帰宅困難者の一時待機や災害情報発信機能 など地域防災協力



街路整備

- ・道路拡幅等による歩車分離による安全性の向上

飯田橋駅西口再開発事業

特定緊急輸送道路沿道の耐震化

- ・目白通り沿道建物の耐震化・更新の促進
- ・災害発生時の緊急輸送動線の確保

拠点地区に相応しい駅前土地利用

- ・駅前に相応しい土地利用、高度利用
- ・来街者に分かりやすいまちの顔、ランドマーク、駅前景観形成(まちの"見附")